

仕事はいっぱいあるけれど……。

やっぱり担任のいちばんのやりがいは、どの子どもも生き生きと学校生活を送ることができる学級づくりです。「教師は授業で勝負する!」はごもっとも。でも、日々の授業が子どもにとって魅力あるものにするには、学級経営がうまくいっていないと……。

悩みや願いはたくさんあって……。

- 互いを認め合って助け合う関係づくりがうまくいかない。
- 担任として、一人ひとりの素敵なおところを見つけ、自信をもたせたい。
- 居心地のよい学級づくりの主役は自分たちだ!という雰囲気をつくりたい。
- よく学び、よく遊び、けじめがあつて「この学級が大好き」という子どもたちにしたい。

学級担任の課題意識が大切!

しかし、多様な子どもたちが30人もいて、一人ひとりを大切にしながら、まとまりがあり、みんなが楽しいという集団づくりはそう簡単なことではありません。大切なのは、担任として目指す学級像をはっきりさせて、その実現のためにすべきことは何かという課題意識をもつことです。そして、一つ一つ子どもと共に解決していこうとする「経営感覚」と「学級づくりの戦略」をもっている、いや、もとうという意欲なのです。

今知りたい!

学級経営 Q&A

教育経営アドバイザー

創価大学教職大学院
准教授 **渡辺秀貴**

担任として、また管理職として、クリエイティブに学級づくりや学校づくりに取り組んできました。また、教育委員会での学校教育を支える行政職も経験しています。豊富な教育経営の知識と経験を生かして学級経営の悩みにリアルにお答えします!



B5判 / 120P / 定価: 1,500円+税
著: 渡辺秀貴

Amazonカスタマーレビュー

12か月ではなく13か月というところに、これは分かっている!!
と思い、手に取りました。読みやすく、具体的で分かりやすい! とかく、意味を考えずそういうものかなと流してしまっていることが、「ING」コーナーに書かれていてドキッとさせられます。それもなぜNGなのか、論理的、分析的に書かれていて、納得させられて嬉しい。